

令和4年度 第4回 豊田市足助地域会議 議事録

開催日時	令和4年7月25日(月)	開会	閉会
		18時30分	20時15分
会場	足助支所 2階 第2、3会議室		
出席者	委員14名出席、市議 鈴木 章		
	足助支所 支所長 青木、副支所長 岩月、主査 花園、主査 川口		
欠席者	3名		
傍聴者	0名		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の誓い唱和(省略) ・会長あいさつ ・鈴木市議あいさつ 2 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・足助地域会議への諮問について 3 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく事業2次募集について 4 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・分科会について 5 連絡事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) あすけ支所だより 足助地域会議だより～あすけ羅針盤～ (2) 配布物 (3) 次回の会議等について確認 		

■ 議事(要約)

2 足助地域会議への諮問について

下記のように地域包括ケア企画課から足助地域会議への諮問があり、3班に分かれてグループディスカッションを行った。

【案件名】「第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」(令和2年度～令和7年度)

【概要】

- ・第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画では「地域の支え合いの仕組みづくり」「地域福祉の担い手づくり」を基本目標にしている。
- ・計画の中間見直しにおいて、当該基本目標に資する地域発の取組提案がないか諮問したい。

【意見聴取したい内容】

①地域で支援対象者を発見するアイデア・手法

※対象者を発見できれば、様々な機関との連携や制度を活用して支援につなげることができるが、孤独・孤立、ヤングケアラーなど対象者を「発見」することが難しいケースもある

②「地域の支え合いを推進する」「地域福祉の担い手を創出する」アイデア・手法

<提案方法>

- ・自分たちの地域で実際に行いたいこと、行うことができそうなこと
- ・市内各地域で行うことができそうなこと
- ・行政や支援機関に支援してほしいこと

【グループディスカッションで出たアイデア】

①地域で支援対象者を発見するアイデア・手法

A班

- ・配食サービス（食の自立支援事業、見守り機能を活かす）の市民への周知
- ・コミュニティスクール、コミュニティナースとの連携
- ・おいでん便（移動販売）からの情報提供
- ・支援対象者の発見者がどこに連絡したら良いかわからないため連絡（相談先）の周知
- ・地域からの情報報告者の匿名化（狭い地域なので揉め事防止に）

B班

- ・オレンジファイル（要支援者名簿）で引き籠りの人も把握しているが、どのように対応して良いのかわからない、地域が家族になるようなコミュニケーションづくり（声掛けなど）が重要

C班

- ・社協が核となり福祉特派員等で各地域にミニ相談所設置し、足助病院などとの連携ができれば、対応可能
- ・インターネットで情報収集、地域に目安箱を設置し声にならない声を拾う仕組みづくり（どちらも匿名化、自由に書き込みができる）
- ・自治会、民生委員の連携など情報の一本化
- ・縁側のあるシステムづくり（必要以上にその人、家に入り込まないでも身近に縁側で座って話をするような関係性のシステムを作る）

②「地域の支え合いを推進する」「地域福祉の担い手を創出する」アイデア・手法

A班

- ・学生ボランティアの受入体制の強化（コミュニティスクール等に関わる）

B班

- ・自治会（組）の常会での地域の意識づけ・連携をしながら担い手を育成する

C班

- ・つなげる人の仕組みづくり、既存の組織「ささえあいネット」を強化し、情報収集・あぶり出しをし、情報の統一化をする（①の対象者発見につながる）

今後、まるふく会議で具体的な取組提案をし、8月の第5回地域会議で最終答申（9/26）へ向けて意見交換会を行う。

3 報告事項

- ・わくわく事業 2次募集について

新規団体の事業申請希望があり、地域振興部で予算等調整を行い足助支所へ 1,000,000 円の事業費が割り振られたため、2次募集を下記スケジュールで行うことを承認された。

- ・審査スケジュール

	7月	8月	9月	10月
地域会議	2次募集報告	8/9 募集チラシ配布 (区長会)	9/20 申請締切	10/17 審査会

4 情報提供

- ◆各分科会について

分科会の活動状況を各分科会代表より説明

【まるふく会議（高齢者等課題検討分科会）】

地域包括ケア企画課から足助地域会議への諮問について事前に意見交換した。

- ・地域で支援対象者を発見するアイデア・手法などは孤立させない居場所づくりが重要だが、相談がなければ対応できないことが多いし、地域から心配の声が上がっても本人が拒絶するパターンも多い、それでも、将来的に本人から相談があった場合にフォローできるような関係性や連携作りが必要。
- ・地域の支え合いなどは現在ある組織「ささえあいネット」をセレモニーで終わらせないで、本来の情報交換を密に行い連携する組織にすることと、地域での見守り隊も作っていく必要もある。

【防災課題検討分科会】

防災課題解決の事業化に向け意見交換した。

- ・足助地区は避難所運営もだが、住民一人一人が災害に対する危機感を持つことが必要という意見にまとめ、各家庭の備蓄品や持出品の確認や避難場所への避難ルートの危険箇所等を自分たちで確認し、課題を見つけていく方法を年数か所の自治区（会）と行う事業を展開していきたい。

【新規課題事業検討分科会】

陣屋跡地の利活用について意見交換した。

- ・用途が限定的にならないユーティリティな空間を創出したい。
今後予算化のために防災拠点、交流の拠点、陣屋跡地の歴史、福祉的な課題解決（車いす等の利用可能）など、利活用のためのストーリー立ては重要。
- ・足助高校、足助中学校などの意見交換会やまちづくり推進協議会との意見調整を実施していく。

5 連絡事項

(1) あすけ支所だより 足助地域会議だより～あすけ羅針盤～

11・12月号 青木信行委員、宮川隆広委員、増田比呂子委員

次回の会議等について確認

- ・第3回防災課題検討分科会

令和4年7月26日(火) 午後6時30分から 足助支所

- ・第3回まるふく会議(高齢者課題検討分科会)

令和4年7月27日(水) 午前10時から 足助支所

- ・第3回新規課題事業検討分科会

令和4年7月28日(木) 午後6時30分から 足助支所

- ・第5回足助地域会議

令和4年8月22日(月) 午後6時30分から 足助支所